

## 2 農水産物の国内販売の取り組み

### ①鳥取・岡山<sup>きょう</sup>共同アンテナショップ「とっとり・おかやま<sup>しんぼしかん</sup>新橋館」

平成26年9月28日、東京の新橋駅の近くに鳥取県と岡山県が共同で、アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」をオープンしました。1階には梨やぶどうといった両県自まんのフルーツや野菜、菓子類<sup>じざけ</sup>、地酒<sup>げい</sup>、民工芸品など両県の特産品約1,800点が販売され、2階には特産品を使うレストランや催し<sup>もよお</sup>を行うスペース、観光や移住<sup>かん</sup>について案内<sup>じゆう</sup>するコーナー<sup>あん</sup>があります。

年間約50万人が来店されるほか、テレビやラジオにも多く取り上げていただくなど、鳥取県の魅力<sup>みりよく</sup>を全国に向けてPRしています。



「とっとり・おかやま新橋館」  
オープン時の様子



おおぜい  
大勢のお客様でにぎわう店内



鳥取、岡山、両県の美味しい食材  
が食べられる2階レストラン

## ②関西の大手スーパーマーケットとの取り組み

鳥取県は、関西の大手スーパーマーケットと「食のみやこ鳥取県に関する協定」を結び、特産品などの販売や新たな商品の開発、情報発信に協力して取り組んでいます。

お店では「新甘泉（赤梨）」など鳥取県独自の新品種を試験的に販売したり、旬の野菜、果物の販売を中心としたミニフェアを毎月1回開催しているほか、鳥取県の加工食品などをいつでも買うことができる販売コーナー「トリピーショップ」もあり、県内の魅力ある特産品を関西の皆様<sup>さま</sup>に知っていただける取り組みとなっています。



トリピーショップコーナー



知事による鳥取すいかの  
トップセールス



県産野菜の販売状況